

小林多喜二祭実行委員会資料編集委員会 琴坂守尚 編著

# 磯野小作争議 小樽港湾争議 資料集

- 概要 — B5判・上製本
- 内容 — 函入・総2002頁  
写真・地図／資料  
解説・争議日誌
- 資料 — 25年8月～28年3月  
宣伝ビラ等104種130枚
- 本体価格 — 8,000円

## 多喜二研究に新しい光を！

浜林正夫・八千代国際大学教授

## 日本労働運動史研究の貴重な資料

松本忠司・小樽商科大学教授

磯野小作争議も小樽港湾争議も、日本の農民運動史や労働運動史のなかで、かならずといってよいほどとりあげられる有名な争議です。大正末期から昭和初期にかけての農民運動や労働運動の大きな高揚のなかで、この二つの争議は「労農共闘」の典型として注目をひいてきました。

この二つの争議はまた、小林多喜二の思想形成に大きな影響を与えた事件としても知られています。この争議のおこった一九二七年には多喜二はすでに小樽高商を卒業し、拓殖銀行へつとめて四年目でした。すでに文学活動のなかから社会の矛盾に気づいていた多喜二は、この年のはじめころから社会科学の勉強に手をつけ、『資本論』をよみはじめていました。この二つの争議を陰から応援していくなかで、多喜二は革命家として成長していきます。『不在地主』、『転形期の人々』はこれらの争議を題材とした作品です。

しかし、この二つの争議についての資料にはまだ埋れていたものが、かなりありました。そのためにこれらの争議についての評価も、かならずしも正確ではありませんでした。磯野小作争議については、それが小樽市内でつぎつぎと労働争議を誘発し、そのために地主側が敗北に追いこまれたこと、港湾争議については、それが通説のいうように労働者側の大勝利とはいえないこと、これらのことを、この新しい資料集はあきらかにしています。多喜二研究にも新しい光が投げられることになるでしょう。

一九二七年に、小樽市を主舞台にして展開された磯野小作争議と小樽港湾争議は、その運動方針の上からも組織活動の面からも、典型的な「労農共闘」を実現したことで、わが国の労働運動史において注目すべき先例となっている。当時、北海道拓殖銀行小樽支店に勤務していた、のちのプロレタリア作家小林多喜二が、地主側情報の争議団への提供、宣伝ビラの作成などこの争議に深くかかわっていたことは広く知られているところだ。『不在地主』、『転形期の人々』、『地区の人々』など、彼の多くの作品はこうした経験をもとに書かれたものである。

本「資料集」は、小樽在住の民衆史研究者による長期間にわたる調査・研究の成果であり、小樽の二大争議を中心に、その後数年間に出版された、労働者、農民、市民に呼びかける宣伝ビラ、闘争ニュース、経過報告など、合わせて一〇四種一三〇枚の資料を網羅している。これらの資料はこれまで、その意義については高い評価を与えられながら、その実態については必ずしも明らかとされなかったこの争議の全過程を、ナマの人間の表情を含めて、詳細かつ克明に浮きぼりにしている。

本「資料集」の刊行は、日本労働運動史と多喜二文学の研究に多くの、貴重な示唆を含むものである。

(編著者紹介) 琴坂 守尚(ことさか・もりなお)  
一九二七年生まれ。北海道大学文学部史学科卒業。北海道歴史研究者協議会会員。(編著書)『治安維持法下の小樽』(一九八二)『海上生活者新聞・復刻版』(一九九〇) (主要論文)『小樽の労働者の伝説』、『小樽の民衆史運動』ほか。

(弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください)

### 不二出版

〒113 東京都文京区向丘一―二―二二  
TEL〇三―八―二―四四三三 FAX八―二―四四六四

発行所 不二出版 著者名 琴坂守尚 編著

様

注文カード

帖合・貴店名

冊数 冊

摘要 書名 発行所

磯野小作争議・小樽港湾争議 資料集

定価 8,240円  
(本体価格8,000円)

年 月 日注文

住所氏名

資料番号	見出し	発行元	日付	体裁・枚数	出所	頁
1	日農本部宛 小樽総労働組合 発開式案内状 小樽総労働組合大演説会呼び かけのチラシ 第二回 檄！ 労農党北海道支部連合会創立 準備協議会	佐藤喜代治気付小樽 総労働組合 北海道地評・小樽総 労働組合 小樽総労働組合 労農党道連	一九二五・八・二七 一九二六・二・二八 一九二六・三・九 一九二六・六・一四	葉書 1 B5縦 1 B4横 4 B4横 1	大原社研 大原社研 大原社研 大原社研	1 3 4 6
2	北海道地評加盟組合合同大会 開催案内状	北海道地評	一九二六・一〇・一九	B5縦 1	大原社研	14
3	北海道地評加盟組合合同大会 順序	北海道地評	一九二六・一〇・一九	B5横 1	大原社研	15
4	北海道地評報告書 一九二六 年度中の活動について	北海道地評	一九二六・一〇・二〇	B4横 2 B4横 1	大原社研 大原社研	16 18
5	檄！ 耕作権獲得の猛運動を 起せ！ 労農提携白熱的争議を応援せ よ	日農北連・労農党道 連 磯野農場小作争議争 議団本部等		B4横 1	北方資料室	22
6	指令 磯野農場争議に関し各支部長 並に争議部員一同に指令す	日農北連 日農北連		B4横 1 B4横 2	北方資料室 北方資料室	26 28



(縮小しています)